

今金町 町内遺跡詳細分布調査（令和4・5年度）

調査目的：町内遺跡および遺跡可能性地の所在確認

発掘期間：令和4年8月（実働日数7日）、令和5年7月～9月（実働日数13日）

調査地：今金町字住吉、中里、花石、宮島、美利河地区

試掘面積：2か年計 62 m²

調査主体：今金町教育委員会

1. 調査の目的と概要

これまでの分布調査等で確認した遺跡および可能性地のうち、町教委が重要遺跡と位置付けるものについて、遺跡の存否や範囲を確認し、今後の保存方策の基礎資料とする目的とする。大きくは次の3種について調査を実施した。

- (1) 写真測量により認識されたチャシ跡のような地形について、試掘により存否を調査
- (2) 神丘5遺跡について、地下探査により地下遺構の残存状況を調査
- (3) 後志利別川流域の砂金採掘跡・カニカン岳金山跡について、現地踏査により分布を調査

2. 調査方法と結果

(1) チャシ跡可能性地

国土地理院がインターネット上で公開する航空写真（主に米軍撮影）をもとに写真測量の技術を活用し、チャシ地形が認められる箇所を踏査して試掘候補地を選定した（宮本・宮塚 2021）。計6箇所について調査区を設定し、堆積土層の状態や人為的痕跡を調査した結果、いずれの調査区でも人為的痕跡を確認することができず、自然地形と判断した。

(2) 神丘5遺跡（C・10・18）

町教委の分布調査で土器片、石器が採集され、縄文時代の遺跡として包蔵地登載（今金町教育委員会 1989）後、土地所有者から大形石棒2点、大形磨製石斧2点の寄贈があり、付近一帯が集落遺跡であることが推定されている。すでに農地として地形改変を受けていたため、地下遺構の残存状況を把握することを目的に帯磁率計による地下探査を行った。その結果、比較的東側（沢頭に近いエリア）に地下遺構もしくは礫が多く所在する可能性が高いことが明らかとなった。

(3) 砂金採掘跡・カニカン岳金山跡（C・10・12）

既往の民間調査組織（日本ナショナルトラスト編 1996）の調査で把握しながら、包蔵地登載していない箇所や、地形的特徴から砂金採掘跡の分布が予想される箇所を中心に現地踏査を行った。カニカン岳金山跡については、作業場と目される鉱山臼の散布箇所を特定するための踏査を行った。

その結果、GおよびHでは既往調査時と比べ、遺跡の分布範囲をより明確に把握した。またEおよびFで砂金採掘跡を新たに確認した。それぞれ登載準備を進めている。これにより、後志利別川流域に所在する砂金採掘跡の分布南限を約4km更新することとなった。別の調査（矢野 1988）では、さらに下流の奥種川地区でも所在が指摘されており、今後も継続的な分布調査が必要である。カニカン岳金山跡については、既往調査での確認地付近まで到達したものの、人為的な遺構や鉱山臼は発見できなかった。今後も継続的な調査が必要である。

参考文献

宮本雅通・宮塚義人 2021 年「空中写真を利用した地形測量による遺跡探査の試み」『南北海道考古学情報』15 号

今金町教育委員会 1989 年『今金町の遺跡』

日本ナショナルトラスト編 1996 年『美利河・花石の砂金採掘跡』

矢野牧夫 1988 年『黄金郷への旅』北海道新聞社

表 1 町内遺跡詳細分布調査区一覧

年度	調査区	所在地	現況	要因	調査方法	面積	成果
R5	A	住吉 神社境内	航空写真でチャシ地形あり	航空写真でチャシ地形あり	試掘	11.6 m ²	
	B	中里 雜木林	文献（幕末の踏査記）から推定	文献（幕末の踏査記）から推定	試掘	3.0 m ²	
	C	花石 雜木林	航空写真でチャシ地形あり	航空写真でチャシ地形あり	試掘	3.5 m ²	
	D	花石 雜木林	航空写真でチャシ地形あり	航空写真でチャシ地形あり	試掘	17.4 m ²	
	E	中里 雜木林	現況地形で砂金採掘跡あり	現況地形で砂金採掘跡あり	踏査		中里 1 砂金採掘跡
	F	宮島 雜木林	現況地形で砂金採掘跡あり	現況地形で砂金採掘跡あり	踏査		宮島 3 砂金採掘跡
	G	花石 雜木林	既往調査で砂金採掘跡（未登載）	既往調査で砂金採掘跡（未登載）	踏査		花石 2 砂金採掘跡
	H	宮島 雜木林	既往調査で砂金採掘跡（未登載）	既往調査で砂金採掘跡（未登載）	踏査		宮島 2 砂金採掘跡
R4	W	中里 雜木林	航空写真でチャシ地形あり	航空写真でチャシ地形あり	試掘	6.1 m ²	
	X	中里 農地跡	航空写真でチャシ地形あり	航空写真でチャシ地形あり	試掘	8.8 m ²	
	Y	(A と同じ)	航空写真でチャシ地形あり	航空写真でチャシ地形あり	試掘	11.9 m ²	
	Z	神丘 農地	採集遺物に石棒、磨製石斧あり	採集遺物に石棒、磨製石斧あり	地下探査		分布傾向を把握

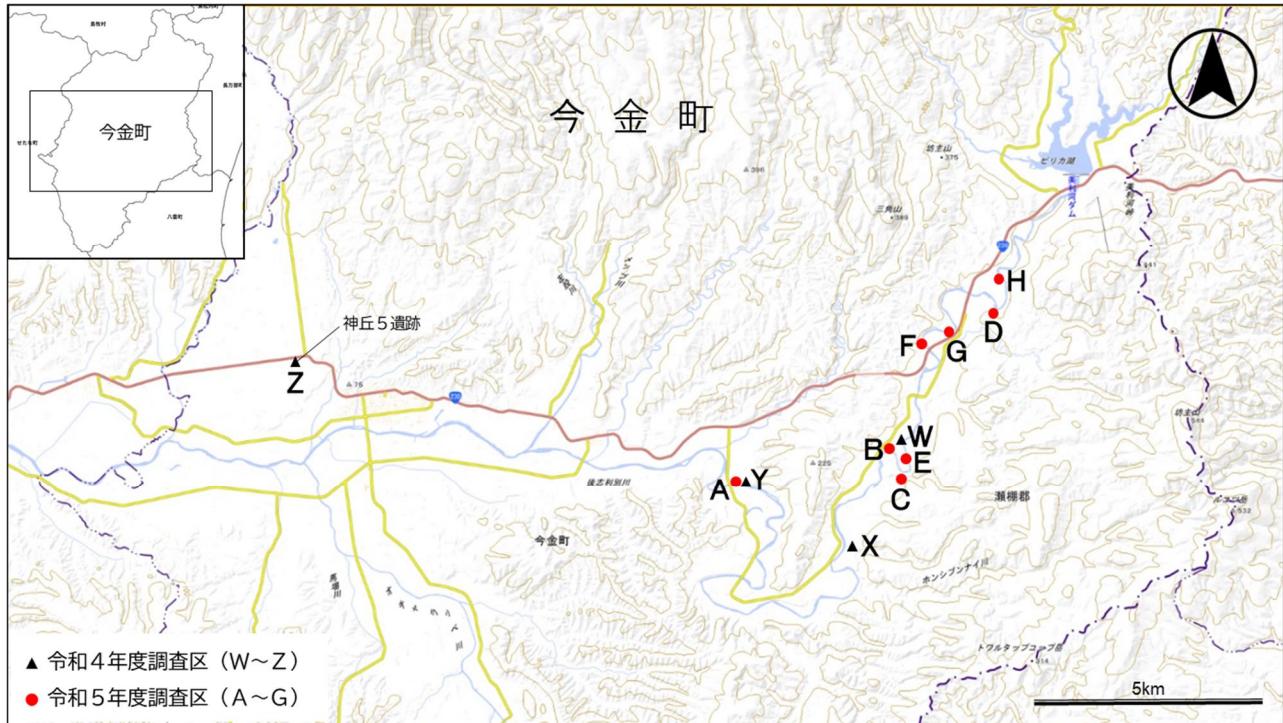


図 1 町内遺跡詳細分布調査 調査区位置図 (国土地理院より転載)



図2 調査区A(Y) 写真測量による古地形

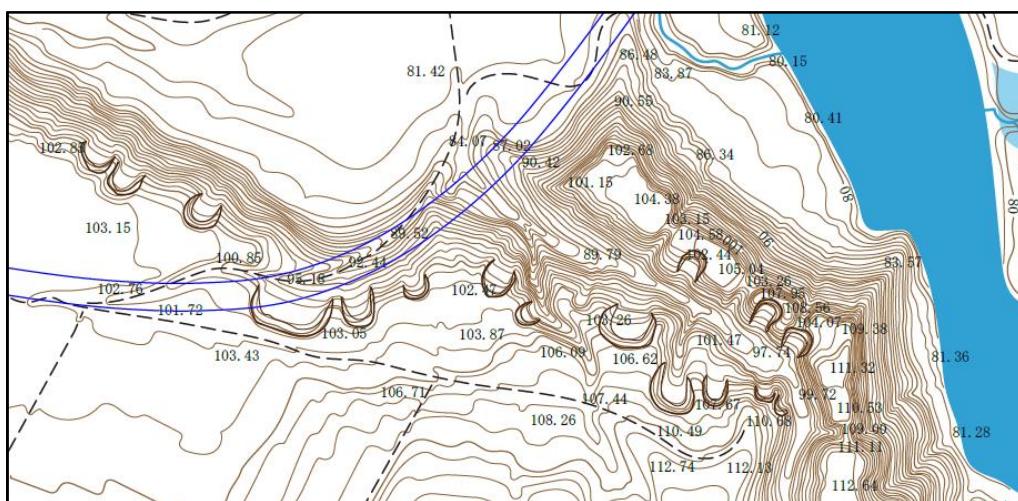


図3 調査区D 写真測量による古地形

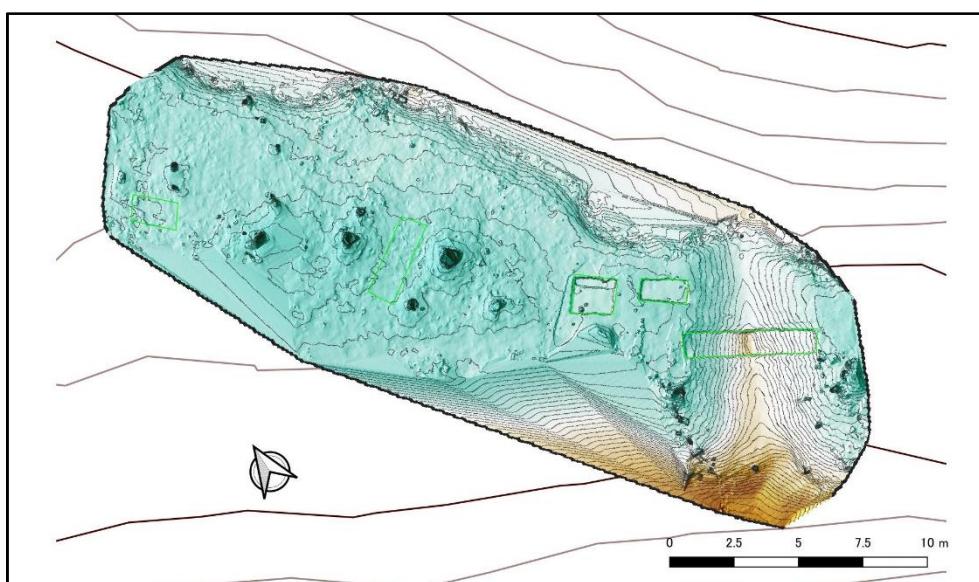


図4 調査区D 現地形と調査区位置図

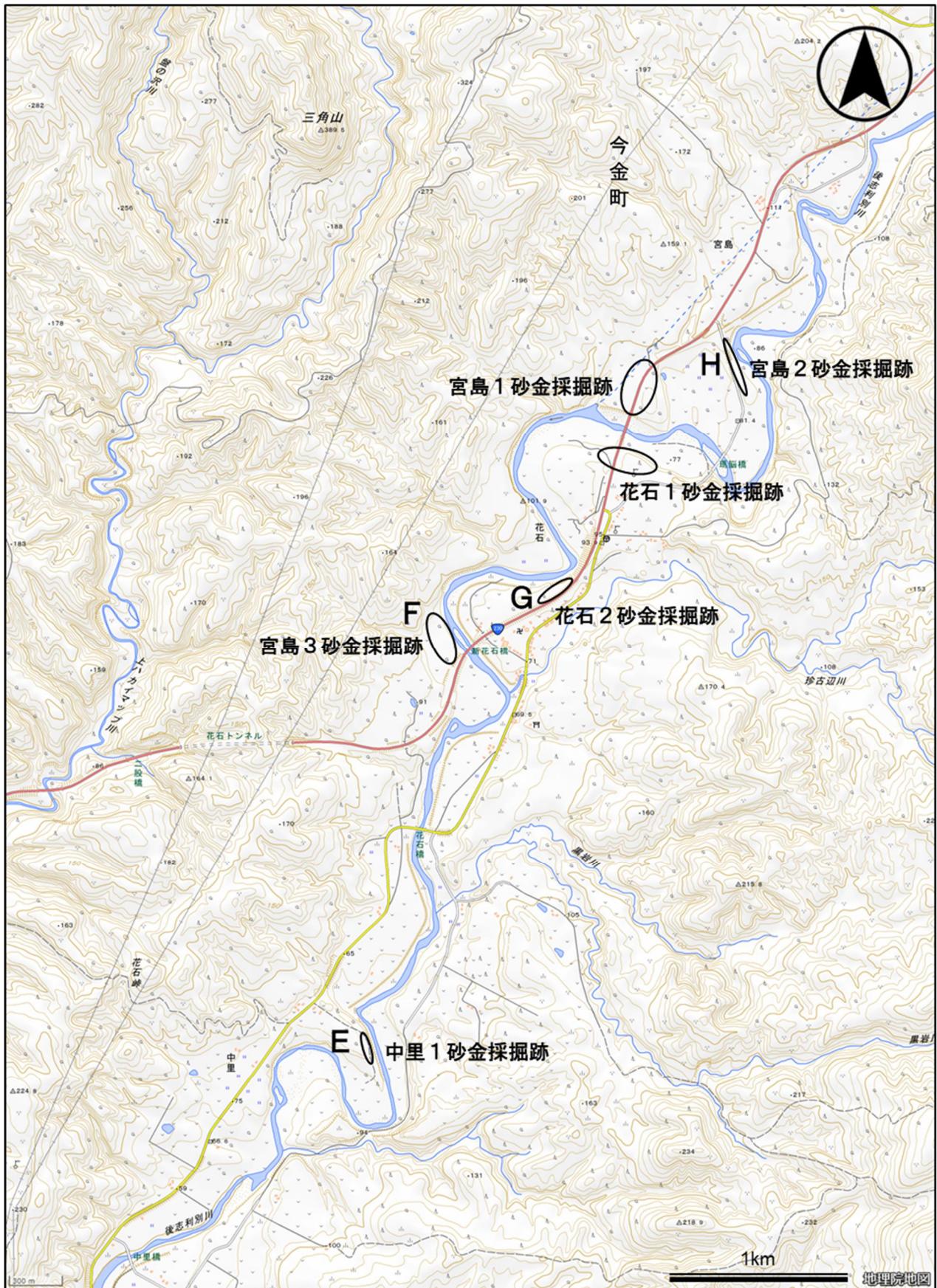


図5 宮島・花石・中里地区における砂金採掘跡の分布（国土地理院より転載）



調査区E 中里1砂金採掘跡



調査区F 宮島3砂金採掘跡



調査区F 宮島3砂金採掘跡

調査区H 宮島2砂金採掘跡